

北海道剣淵高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	全ての科目において、プロジェクト学習を取り入れ、課題解決学習を主軸とする学習を実践する。	課題探究学習において、地域の課題解決へ向けた取り組みを実践することができた。	地域が抱える課題をさらに探求し、その解決に向けた学習を展開する。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	剣淵町の姉妹都市であるペルー共和国タルマ市の特産物キヌアの活用を通して、グローカル教育を実践する。	規格外キヌアを鶏の飼料として有効活用することができた。	キヌアの新たな活用方法を探求する学習を展開する。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 町の特産物であるジャガイモやマメ類等を生産することで、地域の理解と栽培過程を学習する。 (2) ショウガ栽培を実践し、地域の特産物となるよう、活用方法について学習を深め、かつ地域への普及活動を行っていく。	(1) 地域特産物の栽培・販売を通して、地域の農業理解に努めた。 (2) 地域農家の試験栽培を実施することで地域での認知度がさらに高まった。	(1) 新たな地域特産品となりうる野菜類を栽培し、地域への普及活動に取り組む。 (2) ショウガ活用法や販売先を検討し普及に努める。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	2年次における町内農家委託実習、3年次における産業現場実習を実施し、地域産業構造や6次産業など、地場産業の理解に努める。	2、3年次ともに、地域の方々の多大なる協力を得て、地域産業の理解を深めた。	生徒・実習先の要望をさらに取り入れつつ、各種実習の充実化を図り、生徒一人ひとりの勤労観醸成と産業理解に努めていく。	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 温室栽培における冬季のハウス施設の暖房を節約(灯油の使用を抑制する)。 (2) プロジェクト学習における循環型農業の推進に努める。	(1) 暖房使用を極力抑制し野菜栽培を実践した。 (2) 落ち葉や米ぬかなど未利用資源を活用した循環型農業を実践した。	(1) エネルギー問題を常に意識した農業生産を実践する。 (2) 地域環境に配慮した活動を展開する。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 絵本の里ならではの取り組みとして、絵本を教材とした地域資源を活用し、情操教育に繋げた取り組みを実施する。 (2) 道北の海洋副産物を活用した農業生産を推進する。	(1) 絵本をテーマにしたガーデニング作りを行い高い評価を受けた。 (2) ホタテ貝殻を粉碎し、常時鶏に給餌した。	(1) 町の資源である絵本を活用した情操教育をさらに深めていく。 (2) 道北の未利用資源を新たに開拓し、有効活用できる学習を展開する。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	ICTを用いたスマート農業について、近代的農業経営における学習を実践し理解を深める。	管外のスマート農業メーカーや先進農家を視察し、ICTを活用した農業がどのようなものか理解を深めることができた。	今後も継続してスマート農業に関する農業教育を実践する。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 定期的に防火査察を実施し、日頃から地域防災意識を高める。 (2) 自然エネルギーの活用を意識した教育を実践する。	(1) 防火査察を毎月実施し、防災意識を高めた。 (2) 再生可能な資源を活用した教育を実践した。	(1) 防災意識をさらに高める活動を進める。 (2) 地域にある再生可能な資源をさらに活用する教育を展開する。	5